2024年3月第4週号（2024年3月25日発行）

■主要指標の動き■

2024年3月22日時点（1週間前＝3月15日、3ヵ月前＝2023年12月22日、6ヵ月前＝9月22日、1年前＝3月22日）なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	23年末比
世界	世界株価 注1	418.41	1.8	8.7	18.6	27.6	7.8
	先進国株価 注2	10,725.74	2.0	9.1	19.9	29.7	8.5
	先進国(除く日本)株価 注3	12,320.64	1.8	8.8	19.9	29.6	8.3
	新興国株価 注4	544.00	0.5	5.2	8.7	11.0	1.9
日本	日経平均株価	40,888.43	5.6	23.3	26.2	48.9	22.2
	JPX日経インデックス400	25,437.98	5.4	20.4	19.0	43.7	19.0
	TOPIX (東証株価指数)	2,813.22	5.3	20.4	18.4	43.3	18.9
	東証プライム市場指数	1,447.98	5.3	20.5	18.4	43.4	18.9
	東証スタンダード市場指数	1,291.07	2.6	11.6	12.9	24.4	10.4
	東証グロース市場指数	948.62	4.4	10.7	1.5	▲ 1.3	6.5
米国	NYﾀﾞｳ 工業株30種	39,475.90	2.0	5.6	16.2	23.2	4.7
	S&P 500種	5,234.18	2.3	10.1	21.2	32.9	9.7
	ナスダック総合	16,428.82	2.9	9.6	24.3	40.8	9.4
	ナスダック100	18,339.44	3.0	9.3	24.7	45.9	9.0
	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ半導体	4,908.26	3.2	18.8	45.8	58.8	17.5
欧州	欧州 ｽﾄｯｸｽ･ﾖｰﾛｯﾊﾟ600	509.64	1.0	6.7	12.4	14.0	6.4
	英国 FTSE100	7,930.92	2.6	3.0	3.2	4.8	2.6
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	515.22	1.3	8.7	15.8	15.5	8.7
	ドイツ DAX	18,205.94	1.5	9.0	17.0	19.6	8.7
アジア・オセアニア	中国 CSI300	3,545.00	▲ 0.7	6.2	▲ 5.2	▲ 11.4	3.3
	中国 上海A株	3,195.41	▲ 0.2	4.6	▲ 2.7	▲ 6.7	2.4
	中国 深圳A株	1,864.35	0.4	▲ 0.2	▲ 6.9	▲ 15.1	▲ 3.0
	中国 創業板	1,869.18	▲ 0.8	2.4	▲ 7.2	▲ 20.2	▲ 1.2
	香港 ハンセン	16,499.47	▲ 1.3	1.0	▲ 8.6	▲ 15.8	▲ 3.2
	台湾 加権	20,228.43	2.8	15.0	23.8	28.3	12.8
	韓国 KOSPI	2,748.56	3.1	5.7	9.6	13.7	3.5
	シンガポール ST	3,217.97	1.4	2.5	0.4	▲ 0.1	▲ 0.7
	タイ SET	1,381.04	▲ 0.4	▲ 1.7	▲ 9.3	▲ 12.9	▲ 2.5
	インドネシア ジャカルタ総合	7,350.15	0.3	1.6	4.8	9.8	1.1
	フィリピン 総合	6,881.97	0.9	5.9	12.0	5.1	6.7
	ベトナム VN	1,281.80	1.4	16.2	7.4	23.2	13.4
	インド SENSEX	72,831.94	0.3	2.4	10.3	25.1	0.8
	豪州 S&P/ASX200	7,770.55	1.3	3.6	9.9	10.8	2.4

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	23年末比
中南米	ブラジル ボベスパ	127,027.10	0.2	▲ 4.3	9.5	26.7	▲ 5.3
	メキシコ IPC	56,610.54	0.7	▲ 1.2	9.5	7.7	▲ 1.4
東欧	ロシア RTS(米ドル建て)	1,113.05	▲ 0.6	5.2	11.3	13.6	2.7
	トルコ イスタンブール100	9,111.50	3.2	20.6	13.3	82.2	22.0
その他	南ｱﾌﾘｶ FTSE/JSEｱﾌﾘｶ全株	73,254.19	0.4	▲ 1.5	▲ 0.2	▲ 2.6	▲ 4.7
	エジプト EGX30	29,054.96	▲ 7.2	19.5	44.7	90.5	16.7
債券	日本国債 注5	338.65	0.4	▲ 1.2	▲ 0.1	▲ 3.1	▲ 0.9
	先進国(除く日本)国債 注6	976.96	0.3	▲ 1.7	5.3	1.7	▲ 1.8
	新興国債券 注7	774.87	1.6	2.6	11.4	12.0	2.4
利回り*	日本国債2年物	0.204	0.015	0.147	0.172	0.256	0.151
	日本国債10年物	0.741	-0.045	0.116	-0.005	0.413	0.127
	日本国債20年物	1.503	-0.058	0.131	0.042	0.421	0.114
	日本国債30年物	1.809	-0.043	0.227	0.121	0.483	0.176
	米国債2年物	4.590	-0.139	0.266	-0.522	0.651	0.339
	米国債10年物	4.199	-0.108	0.303	-0.236	0.762	0.319
	ドイツ国債2年物	2.827	-0.119	0.396	-0.431	0.120	0.423
	ドイツ国債10年物	2.323	-0.119	0.344	-0.416	-0.005	0.299
	イタリア国債10年物	3.642	-0.057	0.084	-0.952	-0.528	-0.058
	スペイン国債10年物	3.159	-0.085	0.260	-0.660	-0.208	0.166
商品など	東証REIT(配当込み)	4,456.89	5.4	3.1	▲ 0.3	7.0	1.7
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ REIT指数注8 (米ﾄﾞﾙ･ﾍﾞｰｽ)	654.47	0.5	▲ 1.9	10.7	13.0	▲ 2.9
	(ﾍｯｼﾞなし･円ﾍﾞｰｽ)	761.76	2.0	4.3	13.2	28.9	4.2
	香港REIT 注9	495.24	▲ 4.3	▲ 19.3	▲ 8.0	▲ 28.6	▲ 20.7
	オーストラリアREIT 注9	1,183.54	1.9	15.7	29.7	32.0	12.8
	北海ブレント原油先物	85.43	0.1	8.0	▲ 8.4	11.4	10.9
	WTI原油先物	80.63	▲ 0.5	9.6	▲ 10.4	13.7	12.5
	ニューヨーク金先物	2,181.60	▲ 0.1	5.4	12.1	10.9	5.3
	CRB指数	285.76	0.4	7.2	▲ 0.1	10.5	8.3
	シンガポール鉄鉱石先物	108.14	8.2	▲ 22.0	▲ 10.8	▲ 10.1	▲ 22.8
	S&P MLPﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	8,276.69	1.5	12.2	16.5	39.1	12.1
	S&P BDCﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	382.55	0.4	3.6	10.0	29.6	3.2
	ビットコイン	63,509.03	▲ 6.4	45.2	139.3	131.8	49.4

*「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅

注8 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 ： S&PｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数(ﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ)
注9 香港/ｵｰｽﾄﾗﾘｱREIT指数 ： S&Pの各地域/国REIT指数(ﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ、現地通貨ﾍﾞｰｽ)

	為替（米ﾄﾞﾙ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽを除き、対円）	先週末	騰落率(%) 週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	23年末比
北米	米ドル･インデックス	104.43	1.0	2.7	▲ 1.1	2.0	3.1
	米ドル	151.41	1.6	6.3	2.0	15.2	7.4
	カナダ･ドル	111.32	1.1	3.6	1.3	16.3	4.7
欧州	ユーロ	163.67	0.8	4.4	3.6	14.7	5.1
	英ポンド	190.77	0.5	5.5	5.0	18.3	6.2
	スイス･フラン	168.93	0.2	1.5	3.2	17.9	0.8
	スウェーデン･クローナ	14.34	▲ 0.4	0.7	7.6	12.5	2.5
	アイスランド･クローネ	1.099	0.7	5.5	1.1	15.4	6.0
	ノルウェー･クローネ	14.07	0.3	0.9	2.0	12.1	1.6
	デンマーク･クローネ	21.94	0.8	4.3	3.6	14.5	5.1
アジア・オセアニア	中国人民元	20.95	1.2	4.9	3.1	9.7	5.4
	香港ドル	19.36	1.6	6.2	2.0	15.6	7.2
	台湾ドル	4.74	0.5	3.7	2.7	8.8	2.7
	韓国ウォン(100ｳｫﾝ当たり)	11.31	0.9	3.5	1.9	12.5	3.7
	シンガポール･ドル	112.23	0.7	4.3	3.3	13.6	5.0
	マレーシア･リンギ	32.01	1.3	4.2	1.2	7.6	3.6
	タイ･バーツ	4.16	0.3	1.2	1.0	8.4	1.5
	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ･ﾙﾋﾟｱ(100ﾙﾋﾟｱ当たり)	0.960	0.4	4.3	▲ 0.6	12.0	4.8
	フィリピン･ペソ	2.69	0.5	4.8	3.0	10.7	5.3
	ﾍﾞﾄﾅﾑ･ﾄﾞﾝ(100ﾄﾞﾝ当たり)	0.611	1.4	4.3	0.3	8.4	4.6
	インド･ルピー	1.81	0.9	5.9	1.5	13.6	6.6
	オーストラリア･ドル	98.66	0.9	1.8	3.2	12.3	2.7
	ニュージーランド･ドル	90.78	0.1	1.3	2.7	11.1	1.9
中南米	ブラジル･レアル	30.29	1.5	3.3	0.7	20.7	4.2
	メキシコ･ペソ	9.03	1.3	7.6	4.8	27.9	8.7
	ｺﾛﾝﾋﾞｱ･ﾍﾟｿ(100ﾍﾟｿ当たり)	3.89	1.3	6.6	4.5	41.2	7.0
	チリ･ペソ(100ﾍﾟｿ当たり)	15.41	▲ 2.6	▲ 3.4	▲ 7.1	▲ 5.1	▲ 3.7
	ペルー･ヌエボ･ソル	40.88	1.1	5.7	3.3	17.2	7.4
東欧	ロシア･ルーブル	1.64	1.9	6.4	6.0	▲ 3.8	4.2
	ポーランド･ズロチ	37.88	0.4	4.7	10.4	24.4	5.7
	ﾊﾝｶﾞﾘｰ･ﾌｫﾘﾝﾄ(100ﾌｫﾘﾝﾄ当たり)	41.16	▲ 0.4	▲ 0.0	1.5	11.7	1.4
	ルーマニア･レイ	32.92	0.8	4.4	3.5	13.5	5.2
	トルコ･リラ	4.72	1.9	▲ 3.1	▲ 13.5	▲ 31.6	▲ 1.3
その他	南アフリカ･ランド	7.96	0.3	3.2	0.7	10.8	3.3
	エジプト･ポンド	3.24	3.9	▲ 29.5	▲ 32.5	▲ 23.7	▲ 29.0

（騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高）

※右表の為替ﾚｰﾄは原則としてﾆｭｰﾖｰｸの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのﾃﾞｰﾀもﾆｭｰﾖｰｸ17時時点です。

注1 世界株価指数 ： MSCIｵｰﾙｶﾝﾄﾘｰﾜｰﾙﾄﾞ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ･ﾍﾞｰｽ、ﾈｯﾄ･ﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ)
注2 先進国株価指数 ： MSCIﾜｰﾙﾄﾞ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ･ﾍﾞｰｽ、ﾈｯﾄ･ﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ)
注3 先進国(除く日本)株価指数 ： MSCI-KOKUSAIｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ･ﾍﾞｰｽ、ﾈｯﾄ･ﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ)
注4 新興国株価指数 ： MSCIｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ･ﾏｰｹｯﾄ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ･ﾍﾞｰｽ、ﾈｯﾄ･ﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ)
注5 日本国債指数 ： FTSE日本国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(円ﾍﾞｰｽ)
注6 先進国(除く日本)国債指数 ： FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(除く日本、米ﾄﾞﾙ･ﾍﾞｰｽ)
注7 新興国債券指数 ： JPﾓﾙｶﾞﾝ･ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ･ﾏｰｹｯﾄ･ﾎﾞﾝﾄﾞ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ･ﾌﾟﾗｽ(ﾍｯｼﾞなし･米ﾄﾞﾙ･ﾍﾞｰｽ)

指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。
データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■先週の主な出来事■（株式市場での反応を○、△、×の順で評価）

日付	市場の反応	国・地域	指標など（コメント）
3月18日（月）	○	日本	**金融政策正常化の市場への織り込みが進んだとの見方が拡がる** 日銀が18、19日の金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除する見通しになったとの前週末の報道を受け、金融政策の正常化という材料の市場への織り込みが進んだとの見方が拡がった。また、前週に米国で利下げ観測が後退し、米長期金利が上昇した影響などから円相場が1ドル＝149円台で推移したこともあり、株式相場が急反発した。国債利回りは、持ち高調整の動きなどを受けて低下した。
	○	中国	**1-2月の経済指標はマチマチ** 1-2月の鉱工業生産は前年同期比+7.0%、都市部固定資産投資も+4.2%と、ともに予想を上回り、それぞれ、12月単月、2023年通年の伸びを上回ったが、小売売上高は+5.5%と、12月から伸びが鈍化し、予想もわずかに下回った。経済指標はマチマチだったが、景気への警戒感が後退したほか、政策期待もあり、中国本土・香港株式が上昇した。なお、欧米では、国債利回りが総じて上昇し、米2年債および10年債では一時、2月下旬以来の高い水準となった。欧州株式は総じて小幅安となったが、米国では個別の材料を背景に大型ハイテク株が買われたことなどから株式相場が反発した。また、イラクが原油の自主減産に取り組む姿勢を示したとの報道などを受けて原油先物が買われた。
19日（火）	○	日本	**日銀、異次元緩和を修正し、17年ぶりに利上げも、国債買い入れは継続** 日銀は、2%の物価安定目標の持続的・安定的な実現が見通せる状況に至ったとして、マイナス金利政策の解除のほか、YCC(イールドカーブ・コントロール)の枠組みの廃止、ETF(上場投資信託)・REIT(不動産投資信託)の買い入れの終了などを金融政策決定会合で決めた。政策金利については、金融機関が日銀に預ける当座預金の一部に▲0.1%を適用してきたのを改め、無担保コール翌日物レートで0.0～0.1%とした。ただし、YCC廃止後も従来と同程度の金額の国債買い入れを継続するなどとして、当面、緩和的な金融環境が続くと声明文に記した。外国為替市場では、米・日の金利差が大きく開いた状態が続くとの見方から円が売られ、円相場は150円台に下落した。株式市場でも、金融政策の修正の織り込みが進んでいたことに加え、円安もあり、相場が続伸し、TOPIXは1990年2月以来の高値で引けた。また、国債利回りは低下した。
	○	欧米	**独景気期待指数、米住宅着工件数が予想を上回る** ZEW(欧州経済研究センター)が発表したドイツの3月の景気期待指数は前月比+11.8ポイントの31.7と、予想を大きく上回り、2022年2月以来の高い水準となった。米国では、2月の住宅着工件数が前月比+10.7%の年率152.1万戸、建設許可件数は+1.9%の151.8万戸と、ともに予想以上に増加した。欧米の国債利回りは、翌日に米FOMC(連邦公開市場委員会)の結果発表を控え、小動き、マチマチとなった。欧州では、独景気期待指数の上振れが好感されたほか、銀行株やエネルギー株が買われたことなどから株式相場が反発し、独・仏の主要指数は最高値を更新した。米国でも、住宅指標の上振れが好感されたほか、前日に新製品を発表した半導体大手など、主力ハイテク株が買われたことなどから株式相場が続伸し、S&P500指数は最高値を更新した。外国為替市場では、ドルが買われた一方、日銀が緩和的な金融環境が継続するとの見通しを示したことなどを受け、円が対ドル、対ユーロで売られた。また、ウクライナによるロシアの石油施設への攻撃により、ロシア産石油製品の供給が減るとの見方などから原油先物が続伸し、WTIは1バレル＝83ドル台と、2023年10月下旬以来の高値で引けた。
20日（水）	△	欧州	**英消費者物価は2年5ヵ月ぶりの低い伸び** ECB(欧州中央銀行)のラガルド総裁は、金融政策は会合ごとにデータ次第で決定するとして、最初の利下げ後についても、政策金利の軌道を事前に約束することは（右上に続く）
			（左下より続く）できないと述べた。英国では、2月の消費者物価指数が前年同月比+3.4%と、予想を下回り、2021年9月以来の低い伸びとなった。国債利回りは、英物価指標の発表を受けて同国で低下したほか、ユーロ圏でも総じて小幅に低下した。株式相場は、米FOMCの結果発表を控えて小動きだったが、独主要指数が最高値を更新した。
20日（水）	○	米国	**FRB、5会合連続で政策金利を据え置き、年内の利下げ見通しも3回で変わらず** FRB(連邦準備制度理事会)は、市場予想通り、5会合連続となる政策金利の据え置きをFOMCで決定した。会合参加者の利下げ見通し(中央値)は、年内は3回で変わらなかった。一部では、年内の利下げ見通しが2回に減るとの見方があったことから、国債利回りが低下したほか、株式相場は続伸し、主要3指数が揃って最高値を更新した。為替市場では、円相場が一時、対ドルで151円82銭、対ユーロで165円33銭と、それぞれ、2023年11月以来、2008年8月以来の円安水準となった。なお、原油先物は利益確定売りなどから反落した。21日のアジア市場では、中国本土株を除いて軒並み株高となり、日本では日経平均株価が最高値を更新、TOPIXも1990年1月以来の高値で引けた。
21日（木）	○	欧州	**英中銀が利下げを示唆、スイス中銀は主要中銀の先陣を切って利下げを決定** ユーロ圏の3月のPMI(購買担当者指数)速報値は、製造業では予想外の低下となったが、サービス業では予想以上に上昇し、総合ベースでは前月比+0.7ポイントの49.9と、2023年6月以来の水準に回復した。同指数は50が好・不調の境目。英国では、中央銀行が金融政策委員会で政策金利を据え置いたが、物価見通しを引き下げたほか、総裁が利下げの可能性を示唆した。また、スイスでは、インフレとの闘いが奏功したとして、中央銀行が予想外の利下げを政策会合で決定した。前日の米FOMCで年内3回の利下げ見通しが維持されたこともあり、国債利回りが低下した。また、テクノロジー株や資源株を中心に株式相場が上昇し、ストックス・ヨーロッパ600指数や独主要指数が最高値を更新した。
	△	米国	**中古住宅販売件数は予想を大きく上回る** 16日までの週の新規失業保険申請件数が予想に反して減少(改善)したほか、3月のフィラデルフィア連銀景気指数は前月比▲2.0ポイントの3.2と、予想を上回った。また、2月の中古住宅販売件数は前月比+9.5%の年率438万戸と、予想を大きく上回り、1年ぶりの高い水準となった。国債利回りは、経済指標の発表を受けて上昇したが、年央にも利下げが始まるとの観測などを背景に、引けでは小動き、マチマチとなった。株式相場は続伸し、主要3指数が最高値を更新した。外国為替市場ではドルが買われた。また、金先物が買われた。
22日（金）	△	日本	**日本のコア消費者物価指数は4ヵ月ぶりの高い伸び** 2月の消費者物価指数(除く生鮮食品)は、政府による電気・ガス代負担軽減策の効果が一巡したことなどから前年同月比+2.8%と、4ヵ月ぶりの高い伸びとなった。株式相場は、前日の米株高や、円相場が一時、151円86銭近辺と、2023年11月以来の円安・ドル高水準となったことなどを受けて続伸した。なお、中国本土・香港株式は、米中対立への懸念や、人民元が対ドルで約4ヵ月ぶりの安値をつけたことなどから下落した。
	○	欧米	**長期金利が低下** ユーロ圏や米国で6月にも利下げが実施されるとの見方などから、国債利回りが総じて低下した。欧州株式は続伸し、独主要指数が最高値を更新した。米国では、利益確定売りなどを背景に主要2指数は反落したが、ナスダック総合指数は僅かに続伸し、最高値を更新した。なお、23日には2024会計年度の米連邦予算が成立した。

■今週の主な注目点■

米国では、2月の新築住宅販売件数(25日)、3月の消費者信頼感指数(26日)、2月のPCE(個人消費支出)物価指数(29日)などが発表されるほか、FRBのパウエル議長や理事らによる講演などが予定されている。日本では日銀の3月の金融政策決定会合での主な意見(28日)、中国では3月のPMI(31日)が公表・発表される。

（信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成）

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。